

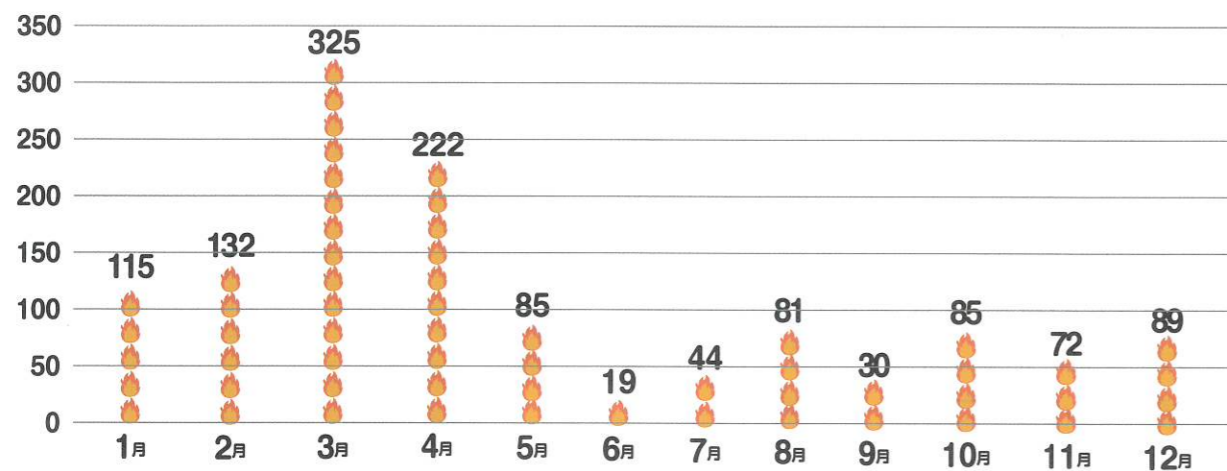
春が近づいています。

横浜の森によくある、クヌギとコナラの枝の先を見てみましょう。枯れているようにも枝の先にはしっかりと冬芽があります。春の準備は少しずつ進んでいます。



注意！火事は冬だけではありません。

乾燥している時期は火事が多い季節です。特に春先には火事が多いため、注意が必要です。ルールを守って火事や事故のない安全・安心な森を楽しみましょう！



グラフ 林野の火事件数 (グラフは令和6年版 消防白書 (総務省消防庁) を参考に作成)

森に遊びに来るときは、マナーを守って散策等を楽しんでください。

気を付けて！

火・コンロは使わない



タバコは吸わない

よこはまの森

No.127

ニュースレター

横浜市みどり環境局環境活動事業課 〒231-0005 横浜市中区本町 6-50-10
tel045-671-2624 fax045-550-4554 よこはまの森ニュースレターHP 二次元コード ⇒



横浜みどりアップ計画
森づくりを担う人材の育成事業の財源の一部に横浜みどり税を活用しています。

冬の森を歩いてみました！

冬は森の木々も葉が少ないので、森の中が見やすいです。冬に発見した森の中の「楽しみ」を紹介します。

林の端の低いところに鳥の巣がありました。管理の際、刈り残した藪に巣を作ったようです。

鳥は森のいろいろな環境を利用しています。

森にはどんな鳥が棲んでいて、どんな環境を利用しているのかを考えながら手入れをしましょう。



KIJI

足元にも目を向けてみましょう。鳥の羽をみつけました。何の鳥でしょう。

羽を見つけたら、どんな鳥でどんな行動をしているのか調べてみると新しい発見があるかもしれません。

この羽はキジの仲間。ここ歩いた?!

つぎは木の上の方を見てください。こちらはヤドリギという植物です。

鳥の糞として樹木に付着し、そこに寄生して育ちます。冬でも緑なので見つけやすいです。

YADORIGI

ヤドリギの種を運ぶので有名なヒレンジャク

Hirenjyaku



森の鳥を見てみましょう!

横浜の森には、いろいろな動物、植物が生息・生育しています。これらの動物・植物のうち、森でよく会う鳥を紹介します。

「ビエー、
ビエー、
「ピーヨ」

鳴き声がしたら、
探してみましょう。

とにかく元気な「よく見る鳥」

ヒヨドリ

口を大きく開けて、とにかく大きな声で
抜群の存在感。

こんなところで見かけます

葉の少ない季節、花の季節、いつも森や
森の周りでよく見る鳥。ヒヨドリ。

グレーの体で、お腹は白い点々があつ
たり、ウロコ模様があつたりするくら
いで、かなり地味。目立つ模様はあり
ません。

鳴き声が存在感の理由

鳴き声は「ビエー、ビエー」、「ピーヨ」

台風の日。いつも聞こえるヒヨドリの声もしません。部屋で嵐が過ぎるのを待っていると、窓の外でヒヨドリの声が…。外を見てみると、風は止みましたが、まだ雨が降っています。

天気が回復して、最初に鳴くのがヒヨドリかもしれません。少しくらいの雨でも風でもへっちゃら。そんな鳥がヒヨドリです。

実は春と秋にふえる?

森のヒヨドリ

最近、森のヒヨドリが、さらに賑やか?いつもよりヒヨドリが多い気がします。春や秋は渡りの季節。渡るヒヨドリもいるそうです。もしかしたら、横浜の森で、旅の途中のヒヨドリが休憩しているのかもしれません。鳥たちが安全・安心な森は、どんな森なのでしょう。次の休憩はどこ森でしょうね。



Hiyodori

ハトにも名前があります キジバト

グレーの体にグラデーションのウロコ模様、首の横にも模様があれば、そのハトは、キジバトです。

日向ぼっこしていましたが、トコトコ歩きながら、
落ち葉をガサゴソ。

Kijibato



ゆったりとした「デーデー、ポポ」と聞こえる声でよく鳴きます。飛んできて、木に止まる時に「プー」と鳴くことも。。

雪が降っていた日。

木に止まっているキジバトを見てみたら、寒いので膨らんでいます。頭には雪が付いています。非常にのんびりしたイメージの鳥



左:キジバト。右:ドバト
尾羽の先端に注目してみましょう!

ところで、森ではない、駅構内や広場などでもハトを見かけませんか。群れていることも多いですね。

観察してみると、いろいろな模様があります。右の写真のハトはドバトです。鳴き声を聞き比べてください。キジバトと違いますね。キジバトとドバトは、他にも違いがあります。調べてみて、新しい発見をみつけてみませんか。